

数学

神戸大学 [理系] (前期)

<全体分析>

試験時間 120分 解答問題数 5題

解答形式

記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

前年に続いて証明問題が数多く出題された。

その他トピックス

複素数平面に関する問題が2題出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	式と証明 確率・整数	数Ⅱ 数A	多項式の除法。さいころの確率。不定方程式。有理数解。	やや難
2	微分法・積分法	数Ⅲ	グラフの概形。面積。	標準
3	複素数平面・整数	数C	複素数と整数の融合問題。	やや難
4	微分法・積分法	数Ⅲ	定積分で表された関数。	やや難
5	複素数平面・微分法	数C 数Ⅲ	軌跡。三角形の面積の最大値。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

最近では数学Ⅲの微分法・積分法からの出題が多いから十分に対策しておきたい。また、今年はまだ出題されてこなかった複素数平面の分野から2題出題されており、整数も含めて他の分野についてももしっかり学習しておきたい。

融合問題や目新しい問題がかなり多く、証明問題もよく出題されるから、実践的な演習で思考力を十分強化したい。